

化学療法プロトコール

申請日： 令和 3年3月3日 申請医師： 箱崎 将規
診療科： 外科 癌腫： 膵臓がん
実施区分： 入外共通

管理番号	C050017	レジメン名： Nanolipo CPT-11+sLV5FU2
1コース期間	2週	総コース数

備考：

適正な患者選択(腹水、胸水、PS、年齢、肝・腎機能などを考慮)。
頻回な検査及びUGT1A1の確認。ホモ、ヘテロは50mg/m²より開始。
インラインフィルターを使用しないこと。投与ラインの急速なフラッシュは避けること。
遅発性下痢に対して半夏瀉心湯7.5g/日、ウルソデオキシコール酸300mg/日、炭酸水素ナトリウム2g/日、酸化マグネシウム2~4g/日を予防投与として考慮すること。

番号	薬剤名	基準投与量	投与量上限	規格	投与方法	投与スケジュール(day1等)
1	オニバイド	70 mg/m ²		自動	点滴	day1
2	レボホリナート	200 mg/m ²		自動	点滴	day1
3	フルオロウラシル	2400 mg/m ²		自動	点滴	day1

備考：

適正な患者選択(腹水、胸水、PS、年齢、肝・腎機能などを考慮)。
頻回な検査及びUGT1A1の確認。ホモ、ヘテロは50mg/m²より開始。
インラインフィルターを使用しないこと。投与ラインの急速なフラッシュは避ける。

実施内容

<p>day1 処方 〈内服〉 臨時 〈4mg〉 テキサドロン錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日より服用 朝 昼 食後30分 2日</p> <p>注射 □外来 化学療法実施 〈1〉 点滴 セリョク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ☆プライミング・ウォッシュアウト用 〈2〉 点滴 ゲラセトン点滴静注パック 3mg/50mL [HK] 1袋 【H】 【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ☆15分で点滴 〈3〉 点滴 オニバイド 70 mg/m² ブドウ糖注 5%≪500mL≫ 1袋 ☆90分で点滴 ★インラインフィルターを使用しないこと 〈4〉 点滴 レボホリナート 200 mg/m² ブドウ糖注 5%250mL **** 1袋 ☆2時間で点滴 ★オニバイド終了後に投与 〈5〉 抗悪性腫瘍剤持続注入 フルオロウラシル 2400 mg/m² セリョク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ☆全量100mLに調整 ☆46時間・シュアーフェーザー 〈6〉 静注 生食注【シリンジ】 オツク20mL◆ 1本</p>	
--	--